

### お知らせ

先月号の新聞でもお知らせしましたが、9月よりワークショップイベントに、出店することに決まりました。

9/21(土) モリコロパーク  
TOKAI ECO FESTA に出店します。



ドアプレート作りとスタンドグラスの手鏡づくりのワークショップです。

以前に出店したことがあるのですが、お客さんとしてゆっくり回りたいくらいお店もたくさんあり、楽しいイベントでしたよ。

他にも 10/27(日)・11/3(日)にもワークショップ出店予定があるので、詳しくはまた、来月号でご紹介しますね。

### 今月の作品



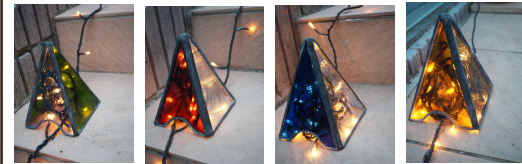
ワークショップ用のドアプレートです。つつい TOILET が2パターンできてしまいましたが、ドアプレートの文字は入れたいものを自由に入れることができます。



お花の小皿を作りました。イメージはコーヒなんかのお砂糖をここに載せて出したらかわいいかな〜から作り始めたんです。たくさんあった方がかわいい気がして、色とりどりにしてみました。



スタンドグラスのライトです。外で使える仕様には作りました。ライトを入れるとグッと雰囲気がよくなる気がします。



今日は、ワークショップの準備に追われ、なかなか作品作りができず、ご紹介できるものが少ないです…

準備が整ってきたらまた、たくさんご紹介できるように作品作りしていきたいです☆

# ユニット新聞

2019年  
7月31日 水  
第31号

毎月月末に発行します。  
日々の暮らしに役立つ情報やユニットのオススメ情報、スタッフのコラムなど掲載していきます。

ブログやFacebookには、ガラスの作品も掲載しています。是非ご覧くださいね。

<http://blog.unit-interior.com>

Facebookもチェック



## スタッフコラム

Unitガラス工房のリーダー。趣味はゴルフ。ちょっと毒舌?だけど、それはすべて「親しみをこめて」のこと。愛嬌たっぷり、ユーモアたっぷり、みんなを元気にするパワフルリーダー。



Unitガラス工房のナンバー2。とってもキッチリしているのでもしとUnitチームをまとめてくれます。趣味は、なんとメモ。いろんなことを記録するんです。ビックリ!あと、料理がとっても得意なので、みんなの体調管理もしてくれています。



先月お話しした新商品の夏の夜にライトアップする件ですが、8月の夏に間に合えばいいけどと頑張って完成しました。商品名は「ピラミットライト」です!

スタンドグラスで三角すい型に製作して、下部の部分を7-ルにえぐり、ライトアップの配線が太くとも大丈夫です。4個セットで製作して工房入口の階段に設置しました。ライトオン!! いいですね〜 この凄い暑さの夜少し涼しく感じますね!



Unitガラス工房の工房長。羊毛フェルト教室とサンドブラストのガラス教室を担当しています。手先がすごく器用なので、大工仕事も得意です!いつも工房では作業着ですが、私服はとってもオシャレ☆

いつの間にか定着する外来語ってありますよね。「インパウンド」も文脈からなんとなく訪日する外国人旅行者関連の事だとは理解できるんですが正確な意味は分かりません。観光事業に携わる人は以前から使っていた言葉なのでしょうか?自分が関わりのある建築関係にも専門用語が多くあり、働き始めの頃は謎の言葉だらけで困りました。大工さんに「ここはツラツラで仕上げとけほしいの?」と言われても、素材の話なのか技法の話なのか理解出来ずにいました。「ツラツラ」は例えば、厚みの違うタイルを並べて貼る場合に、段差がでないように施工する時に使います。面と面を合わせるのでツラツラです。ある時その大工さんが、僕とお客さんの打ち合わせを聞いて「寸法は、馴染みのあるセンチで説明しないとダメだ」と教えてくれました。建築図面の寸法はミリで統一されているので、業界内で80と言われたら8センチと理解するのが通常です。僕には「三尺ちよいだな」と尺貫法まで使うのにお客さんにはセンチで説明している事に驚き、改めて尊敬の念を強くしました。普段使っている専門用語はつつい使ってしまうがちですが、誰にでもわかる言葉で説明するよう心掛けてお客さんに接していこうと思います。

こういうなぞなぞがある。ガラスのコップに一度入れたら取れなくなるものは何?とこんな始まりの新聞記事に目が止まり、読み進めていくと、摩訶不思議なガラスが生まれた…という内容で、ここで少し紹介したい。

『ガラス』は人類が5000年ほど前から作り続けている素材で、割れにくいガラスを職人や研究者達が日夜々と追い求め、そしてその結果、遂に『割れにくい』を飛び越え、『割れても、くつつく』という『自己修復ガラス』の開発に東京大学の研究チームが成功させた。なんでも、糊のような樹脂を断面に密着させて数時間置けば切り傷が自然に癒えるようになってくつつくらしい。これがどのようなことに利用されるのか記されてなかったが、世界初の常識破りのガラスなのだそう。私の頭ではちんぷんかんぷん乍ら、身近でガラスといえば、冷たい飲食物を尚いっそう冷ややかに感じさせるのに本領発揮し美味しさを演出するし、スタンドグラスや色板ガラスの窓やランプシェード(ガレのような)等が少し加わるだけで、暖かさや趣が増して、生活に潤いを与えてくれる。(気がする)

その他、医療や防犯、スマートフォンやカメラのレンズ、テレビやアクセサリ等々、少し見回しただけでも本当に限りなく使われているのだと感心する。

また、「君は、ガラスの心臓だね」やら「ここは、ガラス張りの組織だね」とか脆かったり、清廉だったりの喩えにも使われるガラス。これからも、大いに役立つ欲しい。(弊社の教室でも)

さてさて、冒頭のなぞなぞの答えは『ひび』でした。



Unitガラス工房のHP担当。月刊ユニット新聞の編集長。他にもサンドブラスト、フュージング、スタンドグラスのガラス教室を担当しています。今は、5歳の男の子の予育中。ドタバタな日々を送っています。ぜひ、アドバイスがあれば…ご指導ください。

夏休みなって、パンを以前より頻りに焼くようになりました。というのも、息子が急に「ぱんが、たべたい」「ぱん、つくりたい」と急に言うようになったからです。あまり食べることに執着がないので、いつもご飯の時は、残さず完食させることに苦労しているのですが、自分が作ったパンは驚きの速さで、ぺろっと2、3個食べてくれるので楽なんです。(普段は8枚切り半分くらいしか食べません)パン教室に通っていた頃は手ごねしていたのですが、今は結構手抜きで、こねるのはもっぱらホームベーカリーの仕事です。なので、洗い物がすごく少ないです。しかも、ホームベーカリーが頑張ってくれている間は、ゆっくりと他のことができるので、お得な気がします笑あとは、こねあがった生地を、子どもと一緒に粘土感覚で色んな形にまるめなおして、2次発酵→焼いたら完成です。とっても楽しいし、焼きたてでおいしいし、楽だし、たくさん食べてくれるし…一石二鳥どころか三鳥くらいな感じです!